

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU
名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

R.I. 会長 カルヤン・バナネルジー
Kalyan Banerjee

2011-12年度
R.I. テーマ



<本年度会長方針>

あらためてロータリーを考えよう No.1140

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 川畑 博敬 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 田崎 雅三 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第1339回例会

R財団月間
未来を考える夜間例会

平成23年11月10日(木)

於 オースプラザ
会員 60名

出席計算数

49名中35名出席
出席率71・43%

前々回出席率88・00%

「ニコボックス」

未来ビジョン委員会のみなさんよろしくお祈いします。

川畑 博敬・堀江 英弥
前田 隆久・渡辺 観永
草野さんよろしくお祈いします。

田崎 雅三
少し話をします。眠らないで聞いて下さい。

夜間例会に苦勞様。尾上 昇
浅野さん先日はありがとうございました。会員増強チームⅦのみなさん宜しくお祈いします。

春日井和良
チャリティーマラソン死にかけたましたが24位になりました。皆様応援ありがとうございました。

林 富徳
やっぱり冬は来ますねえ。

木村 光徳
36年前の今夜が初夜でした。

内藤 明
田崎さん、先日は有難うございました。こころ、100切りました!!

林 順治

会長挨拶

川畑 博敬



卓話

「ロータリーの魅力について」

草野 勝彦さん



私は時折「ロータリーの魅力とは一体何だろう」と考えることがあり「ロータリーの魅力とは、友人の集いであり、友情を育む場だと思つています。結論から申しますと、私にとって「ロータリーの魅力とは、友人の集いであり、友情を育む場だと思つています。」私かロータリーに入会したのは40才になって、青年会議所を卒業したころ、懇意にしていたある会社の社長に勧められて、この大須ロータリークラブ設立時にチャーターメンバーとして参加させていただきました。

青年会議所もロータリーも異業種交流の場であり、いろんな方と知り合い情報交換が出来ますが、

特にロータリーの場合は、ロータリー綱領にある「奉仕の機会として知り合いを広める」という精神に基づいて、ロータリアン同志の友情の「絆」を強めることに力点が置かれていると思います。

ロータリーは知人の集まりでなく友人の集いの場だと思います。友情を大切にすることがロータリーの魅力の一つです。

今回の夜間例会は友情を深める絶好のチャンスだと思います。この機会に酒を酌み交わしながら、ロータリーの魅力について話し合つていただきたいと思います。会長方針の「改めてロータリーを考える」についても議論を深めていただき、他のクラブとの差別化が必要なのか? 必要とすればどうすればよいか? をお考えいただきたいと思います。

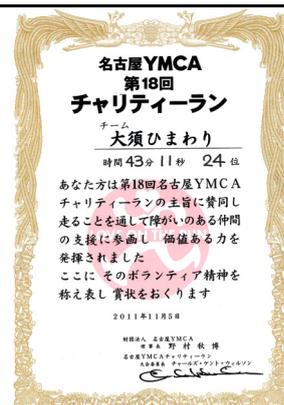
当クラブでは、従前から青少年交換を継続して行い、かつ、大須商店街と共同で地域活性化事業を展開しており、今年も写真展を開催します。

今夜は「ロータリーを考えて大いに議論していただきたい」と思います。

チャリティーラン

職業奉仕委員長 前田 隆久

11月5日(土)、恒例の、名古屋YMCAチャリティーランが開催され、当クラブからも、1チー



△を編成して走ってきました。天気が心配されたのですが、終了までなんとかもちこたえ、今年も盛大に行われました。



今回は、渡辺観永さんの所の3兄弟に、新入会員の林富徳さん、事務局の本田さん、前田の息子の6人で編成し、51チーム中24位という成績でした。

また当日は、会長、副会長、幹事を初めてして、メンバー18名

メンバー家族9名とたくさんの方に応援に来ていただき、楽しい、懇親の一時を過ごしました。

なにはともあれ、無事、終了しました事を、御礼がてら、ご報告いたします。



卓話 (10月17日例会録音)
「ロータリーと社会貢献」
R-1第2760地区

ガバナー 松前 憲典さん

さて、ロータリーの現状にお話を戻します。いま、ロータリーは変革の時がやって来ています。日本のロータリーのみならず、世界のロータリーが同じ状況です。特に日本においては会員の減少が続いています。こうした状況に対してR-1は新長期計画(2010-2013年)をさらに一歩進め、世界中のクラブが積極的に活用することを要望しています。これを戦略的計画と呼んでいます。この計画は5つの中核となる価値観、すなわち奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップをもって、奉仕組織として一層の確立をめざすものです。新R-1長期計画は、3本の柱からなっています。1つめはクラブのサポートと強化、2つめは人道的奉仕の重点化と増加、3つめは公共イメージの認知度の向上です。

ここでR-1理事経験者としての現在の

理事の談話を紹介します。まずはじめに黒田正弘R-1理事(2009-2011)は、「日本の伝統的文化に合うようにクラブで検討し、厳しい変革の時代を乗り切って頂きたい。まず会員増強をはじめとして頑張ってください」と強く要望しておられます。そして、新R-1長期計画とロータリー財団の未来の夢計画の実践年度であると述べられています。一方、近藤雅臣R-1理事(2010-2012)は、「新時代の幕開けに」題して、「世界的視野でロータリーを発展させよう。2013年度の長期計画の実践には、クラブの活性化が重要であり、それがロータリーの発展の大きな原動力である」と述べています。

た仕事にチャレンジすることで意欲を奮い立たせ、自分の力を最大限に引き出し、さらに多くのことを成し遂げられました。R-1の役員の方々が勤勉努力される田中さんの姿を知っているため、R-1会長候補となった8人は、田中さんが立候補されると次々と辞退されたと同っています。勤勉に努力しているからこそ天運が付き、他の人も援助してくれることになったと思います。

ここで、ロータリー財団「未来の夢計画」について少しお話します。第2760地区は前年度の田嶋年度よりパイロット地区としての事業がスタートしています。新地区補助金やグローバル補助金について、各クラブより申請が提出され、順調に施行されています。当地区は模範的地区と言われていますが、これも各クラブの奉仕活動の熱意の賜です。今年度は、この「新長期計画」とロータリー財団「未来の夢計画」の実践年度であり、大きな原動力を得るために各クラブが活性化することが肝要になります。

さて、R-1会長のカルヤン・バネルジー会長は今年度のR-1テーマを「この中を見つめよう、博愛を広げるために」と発表されました。会長はスピーチにおいて、何かを成し遂げようと思つたらあらゆる知恵を振り絞らなければ

ならない。そのために、まず自分を見つめ直す必要があるという、感銘深いお話をされました。自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、怯むことなく、出でて奉仕し、世界で博愛を広げてくださいと語っています。これは、援助が必要な人々に届くように、自分が何を出来るかを真剣に考え、もっと目に見える形で行動を起こさないとということだと思います。さらに、この強調事項として家族、継続、変化を挙げています。世界が望んでいる変化に、まず私たちが自身に対応すること。平和を望むなら家庭や地域に平和をもたらすことから始めよう、ということとです。私たちはロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。会長も平和に溢れた世界をつくり、明るい未来を創造していきたいようにと唱えています。

(続きは次号以降に掲載します。)

11月24日(木) 例会の案内

◆ 会組総務委員 電話

◆ 会組総務委員 氏名

丹 下 高博さん

広報委員会

酒井 修・吉田 明夫
 松永 裕子・小野 定男

* 本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。